



平成30年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成29年12月27日

上場会社名 株式会社 タカキュー
 コード番号 8166 URL <http://www.taka-q.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大森 尚昭

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 佐藤 立育

TEL 03-5248-4100

四半期報告書提出予定日 平成29年12月27日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期第3四半期の業績(平成29年3月1日～平成29年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第3四半期	19,403	9.2	69		115	72.2	79	
29年2月期第3四半期	17,765	1.8	240	188.0	415	60.1	126	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第3四半期	3.24	
29年2月期第3四半期	5.21	

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
30年2月期第3四半期	14,842	7,333	7,333	7,333	49.4	300.97
29年2月期	13,139	7,467	7,467	7,467	56.8	306.46

(参考)自己資本 30年2月期第3四半期 7,333百万円 29年2月期 7,467百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期		0.00		3.00	3.00
30年2月期		0.00			
30年2月期(予想)				3.00	3.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年2月期の業績予想(平成29年3月1日～平成30年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,500	10.4	300	21.6	500	18.6	50	56.2	2.05

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年2月期3Q	24,470,822 株	29年2月期	24,470,822 株
----------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数

30年2月期3Q	104,400 株	29年2月期	104,319 株
----------	-----------	--------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

30年2月期3Q	24,366,484 株	29年2月期3Q	24,366,616 株
----------	--------------	----------	--------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6
3. 補足情報	6
商品別売上高	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策等を背景に、企業収益は緩やかな回復基調となっております。一方個人消費については依然として力強さに欠け、当衣料品小売業界は厳しい状況が続いております。

このようななか当社は、平成30年2月期を初年度とする中期経営計画をスタートさせ、事業の更なる拡大を図るべく「既存事業の再構築と収益性の向上」、「新たな成長戦略への挑戦」、「経営基盤の強化」に取組みました。

営業面では、「日本一お客様に喜ばれる販売員」の育成のため、全国規模でロールプレイング大会を実施し、その動画を全店で共有して、アルバイトも含む全スタッフの接客教育に活かしました。また商品特徴の解説動画を”商品大學”として作成・活用し、販売知識の全体レベルアップを図り、また研修制度は店舗スタッフの階層を細分化して適切なプログラムを設定するなど、教育体制の充実を図りました。

会員制度は、より利便性と魅力を高めるべく特典の見直しを行い、会員の拡大を促進しました。併せて会員以外のお客様にも買物券の配付など再来店を促進しました。また、ショッピングセンターの販促企画におけるディベロッパーとの連携強化や催事販売も積極的に実施しました。

商品面では、「日本一お客様に喜ばれる商品」を提供するために、商品政策として、店長が参加する商品企画会議により現場の意見を品揃えに活かし、またランク別生産による売れ筋商品の投入や値下のコントロールを実施しました。さらにプライベートブランド戦略として、9月より”アレキサンダー・ジュリアン”の展開を開始しました。品質面の改善としては、検品基準の厳格化、指定検品会社の拡大による検品体制の強化など、繊維製品品質管理士等で構成する品質向上委員会を中心に全社的に取組みました。さらにオーダーシャツの展開開始、ビジネスシューズの売場拡大など新たな商品提案も行ないました。

一方で天候不順等の影響もあり、当第3四半期累計期間の既存店売上高前年同期比は2.6%減となりました。

店舗面では、新業態としてライフスタイル提案型ファミリー業態のオンザディを3店舗、オーダー専門業態のステーティストを1店舗出店しました。また、主力業態のタカキューで10店舗、セマンティック・デザインで4店舗、エム・エフ・エディトリアルで2店舗と合わせて20店舗出店し、低効率等により7店舗退店した結果、当第3四半期会計期間末の店舗数は、前年同期比30店舗増の312店舗となりました。

以上により、当第3四半期累計期間の売上高は194億3百万円（前年同期比9.2%増）となりました。利益面では、販売費及び一般管理費の増加等により、営業損益は6千9百万円の損失（前年同期は2億4千万円の利益）、経常利益は1億1千5百万円（前年同期比72.2%減）、四半期純損益は7千9百万円の損失（前年同期は1億2千6百万円の利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産の部は、前事業年度末に対して17億2百万円増加し、148億4千2百万円となりました。主な要因は、流動資産で売掛金が9億2千4百万円、商品が8億円、繰延税金資産が3千4百万円、固定資産で有形固定資産が2億1千9百万円それぞれ増加したことと、流動資産で現金及び預金が1億9千4百万円、投資その他の資産で差入保証金・敷金が7千2百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

負債の部は、前事業年度末に対して18億3千6百万円増加し、75億8百万円となりました。主な要因は、流動負債で支払手形及び買掛金・電子記録債務が15億7千6百万円、その他の未払金が4億1千万円、固定負債で資産除去債務が6千万円それぞれ増加したことと、流動負債で未払法人税等が1億3千7百万円、賞与引当金が6千5百万円減少したこと等によるものであります。

純資産の部は、前事業年度末に対して1億3千3百万円減少し、73億3千3百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が1億5千2百万円減少したことと、その他有価証券評価差額金が1千8百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年2月期通期の業績予想につきましては、平成29年9月22日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年2月28日)	当第3四半期会計期間 (平成29年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,829,160	1,635,080
売掛金	1,271,228	2,195,839
商品	4,045,639	4,845,971
貯蔵品	55,579	60,866
繰延税金資産	95,979	130,389
その他	266,074	233,165
流動資産合計	7,563,662	9,101,313
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	526,018	688,932
器具及び備品(純額)	396,208	469,290
その他(純額)	16,134	0
有形固定資産合計	938,361	1,158,222
無形固定資産	241,920	254,704
投資その他の資産		
関係会社株式	317,882	344,389
賃貸不動産(純額)	80,190	78,386
差入保証金	244,988	164,988
敷金	3,611,325	3,619,067
繰延税金資産	69,694	39,859
その他	71,719	81,432
投資その他の資産合計	4,395,801	4,328,123
固定資産合計	5,576,083	5,741,051
資産合計	13,139,745	14,842,364

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年2月28日)	当第3四半期会計期間 (平成29年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	871,579	810,384
電子記録債務	2,294,646	3,932,395
未払法人税等	252,607	114,879
賞与引当金	157,900	92,841
災害損失引当金	5,635	—
その他	982,666	1,399,985
流動負債合計	4,565,036	6,350,487
固定負債		
資産除去債務	978,418	1,038,721
その他	129,009	119,608
固定負債合計	1,107,427	1,158,329
負債合計	5,672,464	7,508,817
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000,000	2,000,000
資本剰余金	568,485	568,485
利益剰余金	4,815,818	4,663,711
自己株式	△26,274	△26,292
株主資本合計	7,358,028	7,205,904
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	109,251	127,642
評価・換算差額等合計	109,251	127,642
純資産合計	7,467,280	7,333,547
負債純資産合計	13,139,745	14,842,364

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)
売上高	17,765,576	19,403,429
売上原価	7,092,256	7,848,458
売上総利益	10,673,320	11,554,971
販売費及び一般管理費	10,432,725	11,624,037
営業利益又は営業損失(△)	240,594	△69,065
営業外収益		
不動産賃貸料	232,639	228,528
手数料収入	77,000	77,583
その他	33,521	47,604
営業外収益合計	343,161	353,715
営業外費用		
不動産賃貸費用	154,810	153,469
その他	13,009	15,717
営業外費用合計	167,820	169,186
経常利益	415,936	115,463
特別損失		
減損損失	61,902	70,556
災害による損失	19,023	—
特別損失合計	80,926	70,556
税引前四半期純利益	335,010	44,907
法人税、住民税及び事業税	219,723	136,606
法人税等調整額	△11,709	△12,691
法人税等合計	208,014	123,914
四半期純利益又は四半期純損失(△)	126,996	△79,007

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。

3. 補足情報

商品別売上高

	前第3四半期累計期間 (自 平成28年3月1日 至 平成28年11月30日)		当第3四半期累計期間 (自 平成29年3月1日 至 平成29年11月30日)		前事業年度 (自 平成28年3月1日 至 平成29年2月28日)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
重衣料	7,103,637	40.0	7,827,513	40.3	9,558,781	39.8
中衣料	1,019,768	5.7	1,152,626	5.9	1,852,232	7.7
軽衣料	9,034,623	50.9	9,751,716	50.3	11,715,816	48.8
その他衣料等	607,546	3.4	671,573	3.5	877,362	3.7
合計	17,765,576	100.0	19,403,429	100.0	24,004,192	100.0

(注) 1. その他衣料等はスカート、ワンピースのほか、クレジットカード会員獲得に伴う手数料収入、衣料品の修理・加工に伴う収入等であります。

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。